

ぎゅっ

ジェズ・オールバラ/作・絵
徳間書店

森の中を散歩していたジョジョくん。ともだちがみんな「ぎゅっ」としているのをみているうちに、ママが恋しくなってしまう。

読み終わったら、「ぎゅっ」としてあげてくださいね。

いいおかお

松谷 みよ子/文 瀬川 康男/絵
童心社

松谷みよ子あかちゃんの本シリーズ。

ふうちゃんが、にこっと笑っていいおかおをしています。そこへ「いいおかおをみせてー」とねこがやってきます。

ふうちゃんのかわいい表情につられて、ねこもいいおかおをします。次々にやってくる動物たち、みーないいいおかおになっていきます。

優しい言葉と絵で楽しませてくれる絵本です。みんなの「いいおかお」はどんなかおですか？

おいしいねおいしいよ

わかやま けん/作 童心社

あかちゃんのたべもの

ながお ひろすけ/作・絵
PHP研究所

たんたんぼうや

神沢 利子/文 やぎゅう げんいちろう/絵
福音館書店

このゆびとまれ

平出 衛/作 福音館書店

のびのびのーん

川上 隆子/著 アリス館

うずらちゃんのかくれんぼ

きもと ももこ/作 福音館書店

はしるのだいすき

和歌山 静子/作 福音館書店

表情・からだを
伸ばす

あつぷつぶ

中川 ひろたか/文 村上 康成/絵
ひかりのくに

「だるまさん だるまさん にらめっこしましょ わらうとまけよ あつぷつぶ」ページをめくる度、子どもたちが大好きなかわいい動物が登場します。進んでいくと、最後は、大好きなお母さんとあつぷつぶ。歌いながら進んでいくと、お互い笑顔になってくるでしょう。

スキンシップにもなり、日ごろ忙しいお父さんにもおすすめの一冊です。



絵本に
なれてきたら

おおきなかぶ

トルストイ再話 内田 莉莎子/訳 佐藤 忠良/画
福音館書店

おじいさんがかぶを植えました。甘い元気のよいとてつもなく大きいかぶができました。かぶは大きすぎておじいさん一人ではぬけませぬ。呼ばれた助っ人たちはおばあさんに孫に犬にネコにねずみ。「うんとこしょ どっこいしょ」、みんなで力をあわせませぬ。大きなかぶはぬけるでしょうか。おなじみのロシア民話です。

ふくろうのそめものや

松谷 みよ子/文 和歌山 静子/絵
童心社

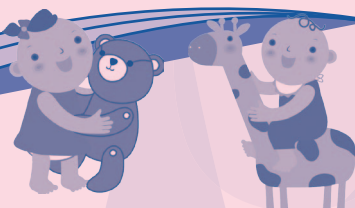
むかーしむかし、からすの体は真っ白でした。からすは他の鳥たちのきれいな色を見てうらやましく思い、ふくろうのそめものやへ出かけていきます。そしてふくろうにあれこれ色を付けてもらいますがどれも気に入りませぬ。そこでおこったふくろうはカッとして……。

からすが黒色になった理由を貼り絵でコミカルに描いています。

佐賀県立図書館100周年記念事業

あかちゃんに おすすめしたい絵本

— 1・2歳から —



たべもの

バナナです

川端 誠/作
文化出版局

バナナです。

皮をすっかりむかれても、まだ青くっても、犬にそっぽ向かれても、バナナはいつでもバナナです。

「あなたはあなたのままでいいんだよ」という作者の思いが込められた絵本です。



いちご

平山 和子/作
福音館書店

「あ、ちいさいいちごがなった。」「いまにおおきくなりますよ。」と母と子の会話形式で進められていくので、赤ちゃんに親しみやすさを与えます。見開きいっぱい描かれたみずみずしいいちごが見る側を魅了します。

一粒もいで赤ちゃんのお口にはこんであげましょう。

いちごの成長を丁寧に追った絵本です。

しろくまちゃんのほっとけーき

森比 左志/文 わだ よしおみ/文 わかやま けん/絵
こぐま社

しろくまちゃんがお母さんと一緒に、ほっとけーきをつくりませぬ。

ほっとけーきがふくらんでいく様子があつてもおいしそうに描かれ、思わず食べたくなります。

おにぎり

平山 英三/文 平山 和子/絵
福音館書店

手の中で、くるっくるつとまわしてのりを巻けば、三角おにぎりのできあがりです。やさしいタッチの絵は、おにぎりを握る手もやわらかであたたかさそう。盛られたお皿に思わず手が伸びるほどおいしそうなおにぎりの絵本です。



佐賀県内公共図書館児童サービス研究会作成

おふろでちゃぶちゃぶ

松谷 みよ子/文 岩崎 ちひろ/絵
童心社

あひるちゃん どこいくの?「いいとこ いいとこ」。わかった!おふろだ!「まって まって」「はやく はやく」自分で一枚ずつ脱いで……。[わーい はだかんぼだーい]おふろが苦手のお子さんも毎日のおふろが楽しみになる絵本です。子どもを愛した画家岩崎ちひろの優しい絵を親子でお楽しみ下さい。

コップちゃん

中川 ひろたか/文 100%ORANGE/絵
ブロンズ新社

白地に太線でシンプルに描かれたコップちゃん。

表情豊かな愛らしいコップちゃんが画面いっぱいに登場します。車になってみたり、「いないないばあ」して遊んだり。だけどやっぱり最後はジュースを入れて「カンパニー!」



赤ちゃんのためのかたちの絵本

桑原 伸之/作
あすなる書房

シンプルな色とはっきりとした線で丸や四角がわかりやすく描いてあります。

形たちが水遊びや砂遊びする場面ではちゃぶちゃぶ、ざくざく……といった言葉で子どもを惹きつけます。



せいかつ

くつくつあるけ

林 明子/作
福音館書店

あんよができるようになったら、こんな絵本はどうでしょうか?

まるで、赤ちゃんの動きを思わせるように、小さいくつが動きまわる絵本です。くつをはいてお外に出る日が早く来るといいですね。



おつきさま こんばんは

林 明子/作
福音館書店

夜になり、暗い空に明るいおつきさまが顔をだします。「おつきさま こんばんは」すると雲がやってきて……。おつきさまの表情の変化も楽しい絵本です。

裏表紙のおつきさまの顔もみてくださいね。この絵本を読んだ後におつきさまを見ると「おつきさま こんばんは」と声をかけたくなるようです。

音を楽しむ

だっこだっこねえだっこ

長 新太/作
ポプラ社

「にゃんにゃんにゃんにゃんねえだっこ」「ぶうぶうぶうぶうねえだっこ」と甘え上手な赤ちゃんたちが登場します。ねこの赤ちゃんもぶたの赤ちゃんも、だっこがだいすきです。

明るい色づかひのユーモアたっぷりの絵と繰り返しの言葉がリズムカルで楽しい絵本です。

おんなじおんなじ

多田 ヒロシ/絵・文
こぐま社

いつも仲良しのこぶたのぶうとうさぎのぴよん。ぶうとぴよんの「おんなじ」ところはどこ? 「ちがう」ところはどこ?

ぶうとぴよんの「おんなじ」を探していくのが楽しい絵本です。



うしろにいるのだあれ

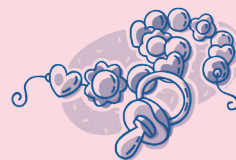
ふくだ としお/作・絵
新風社

「ぼくのうしろにいるのだあれ?」いぬくん のうしろから顔を出しているのは一体だあれ? そのまたうしろは? ヒントの絵を見て、動物の名前をあてっこできるあそび絵本。ワクワクドキドキしながら親子で楽しめる動物達の世界です。

たべたのだあれ (どうぶつあれあれえほんシリーズ)

五味 太郎/作
文化出版局

「さくらんぼ たべたのだあれ」「いちごたべたの だあれ」と、よくよく見るとそうのしっぽが、さくらんぼになったり、ライオンの鼻がいちごになったりしています。落ち着いたタッチですが、パッと目を引き色も楽しめる絵本です。だれかな? どこかな? と探して遊べます。



ともだち

ぞうくんのさんぽ

なかの ひろたか/作・絵 なかの まさたか/レタリング
福音館書店

ぞうくんがさんぽにでかけます。力持ちのぞうくんは、途中で出会ったかばくんとわにくんとかめくんと背中へのせて一緒にさんぽ。背中に乗せずぎて、みんな一緒に池の中にどぼーん。みんな気持ちよく水浴びを始めます。

淡い色で塗られた動物たちはかわいらしく、絵を見ているだけで楽しい絵本です。



想像ふくらむ

あかいふうせん

イエラ・マリ/作
ほるぷ出版

赤いふうせんがいろいろなモノに変化していく様子をのびのびと描いています。

文字はありませんが、真っ赤なふうせんの色合いを楽しめる本です。

たまごのあかちゃん

神沢 利子/文 やぎゅう げんいちろう/絵
福音館書店

「でておいでよ」の掛け声でたまごの中から色々な動物の赤ちゃんがでてきます。「なにがでてくるかな?」と問いかけながら読んであげると楽しいお話です。原色のイラストが鮮やかで、目をひきます。繰り返しの言葉が心地よく読みやすい絵本です。

